

定例会 令和7年度活動報告及び令和8年度活動計画

令和7年度活動報告

開催回数及び開催日	開催回数：4回 開催日：令和7年6月26日（第1回） 令和7年9月18日（第2回） 令和7年12月17日（第3回） 令和8年3月19日（第4回）
活動内容	<p>第1回（令和7年6月26日） 【内容】 1 各専門部会の令和7年度活動計画について（各部会担当者から説明） 2 令和6年度相談支援事業活動実績報告について 3 令和6年度障害福祉サービス等給付実績について</p> <p>第2回（令和7年9月18日） 【内容】 1 各部会の活動について 2 新設サービス（就労選択支援）について 3 その他（情報提供）（医療法人社団大谷会 島の病院おおたに） ALL ライフサポート事業に関する IT 化の仕組みづくりについて</p> <p>第3回（令和7年12月17日） ※権利擁護部会共同の研修会として開催 市社協が主催、自立支援協議会が共催し、講演会を実施した。 参加者：40人 【講演会の内容】 演題：「家庭内虐待の構造を理解する～養護者を加害者とさせないために私たちができること～」 講師：まつたに社会福祉士事務所 松谷 恵子氏 ※内容は、権利擁護部会報告参照</p> <p>第4回（令和8年3月19日） 1 各部会の令和7年度活動報告及び令和8年度活動計画について 2 日中サービス支援型グループホームの評価について 3 意見交換・情報提供等</p>

令和8年度活動計画

開催予定	4回（令和8年6月、9月、11月、3月）※うち1回は研修会を予定。
活動内容	地域の情報や課題、部会の検討内容を共有し、具体的に議論する。 6月 ・当該年度の活動方針について ・情報共有・意見交換 9月 ・情報共有・意見交換 11月 ・研修会 3月 ・当該年度の活動実績報告 情報共有・意見交換

権利擁護部会 令和7年度活動報告及び令和8年度活動計画

令和7年度活動報告

開催回数 及び開催 日	3回 令和7年7月25日（第1回）、令和7年12月17日（第2回）、 令和8年1月29日（第3回）
出席機関	吉田病院、歩歩江田島、アーチ江田島、サンライズ柿浦、SELP江能、 ワークセンターおおきみ、江能福祉会、居宅介護支援事業所江能、誠心園、 江田島市社会福祉協議会、権利擁護センターえたじま、人権擁護委員会、 民生委員児童委員協議会、誠心園相談支援事業所ユーカリ、 市市民生活部人権推進課、市福祉保健部高齢介護課、 市福祉保健部子育て支援課、障害者相談支援事業所江能、 江田島市障害者生活支援センター、市福祉保健部社会福祉課
活動内容	<p>1 中核機関の情報提供（研修の報告等） 元々の権利擁護センターの機能に加え、中核機関として更なる成年後見制度等の普及啓発に取り組んでいる。その一環として、成年後見制度普及啓発事業講演会を開催した。 日 時 令和7年5月23日（金） テーマ 「後見人が必要と言われたら これからの安心のために学ぶ成年後見制度」 講 師 坂下法律事務所 坂下弁護士 参加者 52名 アンケート結果から、多くの好評の声をいただき、「同じ講師から成年後見についてもっと詳しく話を聞きたい」「今後も制度を知る機会を作ってほしい」といった感想があった。これらを踏まえ、引き続き講演会を含めた広報啓発を行っていく予定。</p> <p>2 関係機関の情報提供 ・江田島市障害者生活支援センター 江田島市障害者相談支援事業所「ばすてる」が4月1日から3法人による運営となり、江田島市障害者生活支援センターに、基幹相談支援センターを設置したことについて報告。</p> <p>3 講 演 「家庭内虐待の構造を理解する ～養護者を「加害者」にさせないために私たちができること～」 日 時 令和7年12月17日（水）10：00～12：00 講 師 まつたに社会福祉士事務所 認定社会福祉士（児童・家庭分野） 介護支援専門員 松谷 恵子 氏 参加者 40名 関係機関以外に民生委員・児童委員等、多様な立場の参加があった。</p>

	<p>アンケートでは、「具体例があつて分かりやすかつた」「日常のサインを見逃さないように意識したい」「私自身も支援者として加害者にならないよう行動をより一層改めて考えようと思います」等の意見があり、概ね好評であつた。</p> <p>4 県及び市町の障害者差別解消法相談窓口において対応した相談件数及び相談事例の共有</p> <p>主な内容は、ヘルプマークに対する認識、飲食店や娯楽施設の受け入れにおいて不当な扱いとするかどうか、などであつた。</p> <p>件数としては少なく、当事者自身が不当な扱いや合理的配慮の欠如に気づきにくいことが課題として考えられる。当事者だけでなく、配慮する側や周囲の人が気づける環境や、気づきを拾い上げる仕組みが大切である。</p> <p>5 来年度の取組について</p> <p>(1) 検討内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関の情報共有 ・合理的配慮に関する啓発活動として、構成員及び事務局による各事業所訪問の検討 ・理解促進研修の開催 <p>テーマは「地域共生社会」とし、支援者や関係機関に限らず、地域住民を含め幅広い層が参加できる内容とする。専門家だけでなく一般市民にも興味を持ってもらえるよう、タイトル及び内容を工夫する。</p> <p>(2) 開催回数</p> <p>年3回の開催を予定。</p>
--	--

令和8年度活動計画

開催回数	3回
出席機関	権利擁護センターえたじま、人権擁護委員会、民生委員児童委員協議会、市市民生活部まちづくり共生課、市福祉保健部高齢介護課、市福祉保健部子育て支援課、誠心園相談支援事業所ユーカリ、障害者相談支援事業所江能、江田島市障害者生活支援センター、市福祉保健部社会福祉課
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関の情報共有 ・合理的配慮に関する啓発活動として、構成員及び事務局による各事業所訪問の検討 ・理解促進研修の開催

こども支援部会 令和7年度活動報告及び令和8年度活動計画

令和7年度活動報告

開催回数 及び開催 日	3回 令和7年6月26日（第1回） 令和7年9月18日（第2回） 令和8年2月17日（第3回）
出席機関	県立呉特別支援学校江能分級、児童発達支援事業所歩歩江田島、放課後等デイサービスアーチ江田島、放課後等デイサービスリンク江田島、島の病院おたに、市教育委員会学校教育課、市子育て支援課、障害者相談支援事業所江能、江田島市障害者生活支援センター、市社会福祉課
活動内容	<p>1 江田島市における医療的ケアが必要な方の現状と課題 (1) 事例 (10歳代、気管切開、経管栄養、喀痰吸引) 課題 江田島市の生活介護事業所で医療的ケア児の受け入れ実績がないため、学校卒業後も市内で生活するためには18歳以降の日中の行き場の確保について検討が必要。共生型介護保険サービスでデイを利用できないか、事業所に相談している。</p> <p>2 各機関、事業所の現状報告 (1) 各機関、事業所から現状について報告。療育の受け皿不足や、不登校児の現状といった課題や、予防的性教育や、保護者が外国籍の家庭との意思疎通について実践例等が共有された。</p> <p>3 児童発達支援について (1) 児童の発達診療の資源不足という課題軽減に向けて、呉みどりが丘病院に対し、相談会等への派遣協力について相談を行った。当院としては協力したいが、予算や人員の制限もあるため、当院でしか対応できない部分の補完ができれば、とのことで、現状の市内資源で対応可能なことについて、今一度の検討をと提案があった。 作成したQ-SACCSを活用し、支援体制整備に向けて市内資源にて可能な取組があるか引き続き検討していくこととなった。 (2) 発達相談等を要しない療育の場として、今年度は運動教室を2回、リトミック教室を1回開催した。また、発達が気になる児童の保護者向けのワークショップ及び相談会を開催した。参加者から好評で、継続開催を望む声があった。 (3) 高田交流プラザにある箱庭を教育支援センター利用児が活用できるよう調整を行った。また、上記療育教室開催の日に併せ、希望者には箱庭体験の場を設けた。</p> <p>4 障害のある児童の性教育について (1) 昨年からの、障害のある児童の性に関する課題を共有し、保護者や支援</p>

	<p>者への性教育への意識啓発について継続して検討をする中で、江能分級が昨年度の研修を踏まえた取組を行っているとのことで、実践報告を受けた。ゲームや演習を通じて、児童達の意識や行動に変容が見られ、性教育の効果や必要性を感じる事ができた。</p> <p>5 地域支援システム評価（Q-SACCS）について</p> <p>(1) 作成したQ-SACCSについて広島県発達障害者支援センターから、AIも活用した本市の強みと課題の分析と、取組の提案を受けた。小規模な本市ならではの連携の取りやすさがある一方、島嶼部であること等による資源不足や、他市と共通して15歳以降の支援が明確に減ることなど、強みと課題が明らかになった。こうした本市の強みを活かした既存の連携の場の強化や、専門職のスキルアップの場等について提案があった。</p> <p>6 来年度取り組みたいこと</p> <p>(1) 児童発達支援センター設置が困難かつ、医療や福祉資源が少ない中、発達課題のある児童や保護者の負担軽減に向けて、横のつながりの強化が重要となる。既存の会議等の活用、新たな情報共有の場の設置など、保育・福祉・教育・医療の連携強化の仕組みの検討を行いたい。</p> <p>(2) 現在実施している療育教室や箱庭の活用など、診断や支給決定を要しない療育の場や相談会を引き続き実施し、ニーズ把握をしながら継続運用に取り組みたい。</p>
--	---

令和8年度活動計画

開催予定	3回（第1回、第2回定例会後、第3回時期未定）
構成員	令和7年度の出席機関に依頼。また、適宜、系列事業所のサービス管理責任者が出席できるようにする。
内容	<p>医療的ケア児協議の場としての報告を続け、課題について協議する。</p> <p>児童発達支援の体制整備について協議する。</p> <p>保育・福祉・教育・医療の情報共有の仕組みづくりを検討する。</p> <p>こどもの性教育の取り組みについて協議する。</p> <p>その他必要な課題について協議する。</p>

地域移行・在宅支援部会 令和7年度活動報告及び令和8年度活動計画

令和7年度活動報告

開催日時	<p>部会5回（精神WG3回・拠点WG2回）</p> <p>◆精神WG：第1回令和7年7月31日（木）・第2回令和7年10月20日（月） 第4回令和8年2月3日（火）</p> <p>◆拠点WG：第3回令和7年10月20日（月）・第5回令和8年2月3日（火）</p>
出席機関	<p>【精神WG】あおぞら家族会・江田島市心身障がい児者家族会・SELP江能保護者会・島の病院おおたに・吉田病院・ホームヘルパーセンター江能・江田島市社協訪問介護事業所・江田島市社会福祉協議会 地域福祉課・自立支援センターあおぞら・パラレル・サンライズ柿浦・サンライズ大君・グループホームオリーブ・保証人代行サービスイマココ・広島県西部保健所呉支所・江田島市保健医療課・江田島市地域包括支援センター</p> <p>【拠点WG】特別養護老人ホーム江能・倉橋の里・江能福祉会 就労・地域生活支援課・パラレル・サンライズ柿浦・サンライズ大君・グループホームオリーブ・吉田病院・江田島市社会福祉協議会 地域福祉課・自立支援センターあおぞら</p> <p>【事務局】江田島市社会福祉課・江田島市障害者生活支援センター・相談支援事業所ユウカリ・障害者相談支援事業所江能</p>
活動内容	<p>1 部会の開催について</p> <p>今年度も地域移行・在宅支援部会では、2部構成で、①精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築に向けた部会3回と②地域生活支援拠点事業の部会2回の計5回の会議を行った。</p> <p>2 精神等ワーキンググループ【第1回・第3回・第4回】</p> <p>(1) 事業所紹介</p> <p>ア 広島県地域生活定着支援センター（センター長より） パンフレットを基にセンターの目的・業務内容・支援対象者・支援の流れを説明した。</p> <p>イ 合同会社ZAIENN 訪問介護ステーションゆかり（管理者より） 令和8年1月から事業を開始した。スタッフは、6名・担当地域は、江田島全域と呉市音戸町です。今後、障害の需要があれば指定を検討したい。</p> <p>(2) 事例検討</p> <p>ア 広島県地域生活定着支援センター（担当職員から） 知的・精神障害のある方の出所後の住居及び生活支援について</p> <p>イ 江田島市障害者生活支援センター（担当職員から） 精神障害のある方が、母親の死亡後、一人暮らしになり、医療と連携後、在宅での生活を再開したケース</p> <p>ウ 広島県西部保健所呉支所（担当職員から） 精神科病院へ入院し退院後の支援をしたケースについて 精神科病院への措置入院をした場合の退院後支援について、「広島県精神障害者の退院後支援ガイドラインのイメージ」を基に入院時から本人への同意があれば保健所による退院後支援に関する流れを説明した。</p>

(3) 移動支援について

ア 第1回グループワークの内容 (別紙)

移動支援・ヘルパー・住居・その他について意見交流をした。

令和6年12月現在において、広島県交通助成制度について調べた結果、江田島市だけ、交通助成がないことが分かった。

⇒障害者に対して 例：タクシー券の発行・月1,000円×12か月
など何らかの交通助成が検討できないか

イ 江田島市内での移動支援の体制について

○沖たすけあい交通について (実証運行)

運行期間：令和7年11月4日～令和8年1月31日

運行地域：沖地区全域

対象者：沖地区にお住まいの方

利用について：自宅から目的地・移動は沖地区内

利用申請⇒事務局⇒手配(調整)⇒当日

60運行(往復45・行き8・帰り7)

延べ86人(19人)

病院受診16件・JA・お寺・市民センター

今後について：沖地区以外の需要があるのか？運営していくための財源や料金・ボランティアへの対応など検討していく。

○宮ノ原まちづくり協議会 移動支援について

宮ノ原隣保館が中心となり、令和7年6月から社会福祉法人誠心福祉会が協力して「移動支援サービス」を開始。

令和7年12月18日より、津久茂まちづくり協議会も参加している。

現在、大幸まちづくり協議会(大須地区・幸ノ浦地区)は調整中。

運行地域：宮ノ原・津久茂⇒イズミ・藤三

対象者：買い物が難しい方・年齢制限なし・高齢者優先・障害など配慮が必要な方は、申し込み時に相談してもらう。

利用について：往復1回100円

今後について：江田島市全域に支援が広がればと思っている。

○大柿地区「移動支援サービス」について

大柿厚生文化センターが、大柿地区買い物支援サービスについて、江能福祉会 brunch の協力を得ながら、今後開始に向けて「まちづくり協議会」と調整していく予定。

ウ その他(江田島市包括支援センターより)

「移動支援サービス」については、運営会議において、まちづくり協議会代表の方が課題に対して進めている。江田島市からの補助金や空き時間のスクールバスの運用など検討している。

3 地域生活支援拠点ワーキンググループ【第3回・第5回】

(1) 地域生活支援拠点整備事業の運用について(令和8年1月31日現在)

ア 相談支援事業所の状況

○緊急時対応

	令和5年	令和6年	令和7年1月	備考
社協	0	0	0	
江能福祉会	0	0	0	
誠心園		0	0	令和6年7月開所
合計	0	0	0	

イ 短期入所利用状況及びGH入居・施設入居状況について

	短期入所 支給決定数	短期入所 利用者数	GH入居者 数	施設入所者数
社協	15 (8)	10 (5)	11	0
江能福祉会	34 (5)	22 (3)	24	2
誠心園	1 (1)	0	0	0
合計	50 (14)	28	35	2

※ () 児童数

ウ 江田島市障害者生活支援センター

短期入所利用者については、家族のレスパイトや障害児では、外泊訓練のための利用がある。

グループホームへの入居訓練での利用を勧めても、家族の拒否があるなど課題がある。

エ 障害者相談支援事業所江能

緊急時への対応は、家族の親族の葬儀が市外であるため急遽、短期入所の利用があったが、既に短期入所の利用もあり、グループホームでの受け入れも可能であったため、緊急時扱いとしていない。

短期入所の支給決定量は増えている。障害児では、母親の仕事の都合や緊急時に対応の決定である。グループホームへの入退所や施設入所への移行などもあった。

相談では、居宅介護支援事業所と連携するケースが増えている。また、医療系と連携するケースも増えている。

オ 相談支援事業所ユーカリ

短期入所は、児童の支給決定ではあるが利用には至っていない。
相談としては、児童の療育が多い。

(2) グループホームの現状について

ア 社会福祉法人江能福祉会

	類型	定員		入居数	短期	短期契約数	
		男	女			9月30日	1月31日
本館	包括型	男	5	4			
		女	5	5			
新館	包括型	男	5	3	空所型1	7	7
		女	5	4	空所型1	9	10

※2月2日付で新館に男性が入居した。

※2月中旬に本館に男性の見学予定がある。

イ 株式会社太陽 サンライズ

	類型	定員		入居数	短期	短期契約数	
						9月30日	1月31日
大君	包括型	男1階	5	4	0	0	0
		男2階	5	3	0	0	1
柿浦	日中支援型	男1階	6	5	1	15 (8)	14 (7)
		女2階	6	3	1	12 (4)	11 (4)

※大君：8月から空所型短期入所を開所したが、なかなか利用にはつながっていない。2階に3月から入居予定。

※柿浦：短期入所は、呉市以外の熊野町などからの利用もある。

(3) 株式会社歩歩 共同生活援助パラレル

	類型	定員		入居数	短期	短期利用契約数	
						9月30日	1月30日
パラレル	日中支援型	男1階	7	6	1	9 (3)	10 (4)
		女2階	7	3	4	11 (2)	12 (2)

※女性入居者については、退所1名あり、入居1名あった。
児童短期利用者は、定期的に利用している人である。

(4) 日中サービス支援型共同生活援助・評価シートについて
ア 評価スケジュールについて

月	自立支援協議会	事業所	備考
10月	部会で説明		
11月			
12月	提出書類を確認後、構成員に年内送付	12/15までに評価シート・関係書類提出	12/1 現在
1月	構成員に年内評価シート送付→1/15までに市に提出・意見等・要望等集約		
2月	部会開催 評価・質疑等	評価を受ける→指摘事項等改善結果報告書を月末までに提出	2/3 実施
3月	定例会で報告		

※二次評価者は、異動等により変更あり

- イ 評価・質疑応答について
資料に添って事業所からの説明・助言
○サンライズ柿浦
○パラレル

(5) 地域連携推進会議について

- ア 社会福祉法人江能福祉会 グループホームオリーブ
日 時：3月11日(水)
参加者：市役所・民生委員・相談支援事業所(社協・江能)・本館・新館から利用者各1名・保護者各1名
- イ 株式会社太陽 サンライズ
日 時：3月予定
参加者：市役所・民生委員・福祉関係者・警察の方・家族
- ウ 株式会社歩歩 共同生活援助パラレル
日 時：3月中
参加者：家族に調整中
- エ 市より

今年度から地域連携推進会議については、義務化された。参加者については、同じ人の参加も考えられる。開催時期については、年度末に集中ではなく余裕をもって開催して頂けると助かります。

4 来年度について

(1) スケジュールについて

精神WGで3回(7月・10月・2月)・拠点WGで2回(10月・2月)・個別支援会議は、必要に応じて実施

(2) 精神等ワーキンググループ

議題について
事例検討について
移動支援について
精神障害者にも対応した地域包括システムの構築について
その他

(3) 地域生活支援拠点グループについて

議題について
地域生活支援拠点整備事業の運用について
グループホームの現状について
日中サービス支援型グループホーム評価について
地域連携推進会議について
その他

令和8年度活動計画

開催回数	<p>5回【精神WG 3回 7月・10月・2月・拠点WG 2回 10月・2月】</p> <p>① 精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築に向けたWG</p> <p>② 地域生活支援拠点WG</p> <p>③ 個別支援会議【必要に応じて】</p>
構成員	<p>① 精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築に向けたWG 精神障害者家族会・江田島市心身障がい児者家族会・SELP江能保護者会・島の病院おおたに・吉田病院・ホームヘルパーセンター江能・江田島市社協訪問介護事業所・江田島市社会福祉協議会 地域福祉課・自立支援センターあおぞら・福祉サービス事業所りんりん・株式会社歩歩・パラレル・サンライズ大君・サンライズ柿浦・グループホームオリーブ・保証人代行サービス イマココ・広島県西部保健所呉支所・市保健医療課・江田島市地域包括支援センター・市社会福祉課・江田島市障害者生活支援センター・相談支援事業所ユーカリ・障害者相談支援事業所江能</p> <p>② 地域生活支援拠点WG：地域生活支援拠点委託協力事業所 特別養護老人ホーム江能・倉橋の里・江能福祉会 就労地域生活支援課・ホームヘルパーセンター江能・江田島市社会福祉協議会 地域福祉課 自立支援センターあおぞら・サンライズ大君・サンライズ柿浦・パラレル・グループホームオリーブ・福祉サービス事業所りんりん・吉田病院・江田島市社会福祉課・江田島市障害者生活支援センター相談支援事業所ユーカリ・障害者相談支援事業所江能</p> <p>③ 個別支援会議：関係機関</p> <p>※議題により、都市整備課・多機関に参加してもらう。</p>
活動計画	<p>第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画の成果目標8項目のうち、①福祉施設入所等から地域生活への移行、②地域生活の充実・④精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築、⑥地域における相談支援体制の充実・強化と部会で位置づけられている「保健・医療・福祉関係者の協議の場」「精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築に向けた協議の場」「日中サービス支援型グループホーム評価の場」の協議を継続する。</p> <p>(1) 精神ワーキンググループ 事例検討について 移動支援について 精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムの構築について 今年度の振り返り・来年度に向けて</p> <p>(2) 地域生活支援拠点WG 地域生活支援拠点整備事業の運用状況 日中サービス支援型グループホームの改善・現状および評価・助言について 今年度の振り返り・来年度に向けて</p> <p>(3) 個別支援会議 個別で支援が必要なケースがあれば、その都度、関係機関を招集し会議を実施する。</p>

就労支援部会 令和7年度活動報告及び令和8年度活動計画

令和7年度活動報告

開催回数 及び開催 日	5回 令和7年6月26日（第1回）、令和7年9月18日（第2回）、 令和7年10月21日（第3回）、令和7年12月9日（第4回）、 令和8年1月29日（第5回）
出席機関	江田島市商工会、呉公共職業安定所、呉安芸地域障害者 就業・生活支援センター、ひまわりくらぶ江田島、福祉サービス事業所 りんりん、SEL P江能、ワークセンターおおきみ、自立支援センターあおぞら、くらしサポートセンターえたじま、社協無料職業紹介所、市商工観光課、相談支援事業所ユーカリ、江田島市障害者生活支援センター、障害者相談支援事業所江能、市社会福祉課
活動内容	<p>1 各事業所における現状及び課題について</p> <p>(1) 各事業所の現状や課題</p> <p>ア 自立支援センターあおぞら 就労継続支援B型：定員20名、利用者数23名（受入不可） 就労移行：定員10名、利用者数6名。（受入可） 就労定着 作業内容：盆灯籠作り、牡蠣の種付け用の貝殻通し、グリーンファーム沖美のトマト拾い、市役所委託掃除、小物作り、はぎれマット、ビーズアクセサリ、農園作業（野菜：ゆめタウンや豆ヶ島の地域で販売中）、草抜き（固定客）など 課題：灯籠が年々売れなくなっている。将来的に、灯籠に代わる作業の開拓が必要である。 平均工賃：19,378円</p> <p>イ SEL P江能 就労継続支援B型：定員20名、利用者数15名。（受入可） 作業内容：盆灯籠作り、牡蠣の種付け用の貝殻通し、セーラー万年筆部品組立、グリーンファーム沖美からのトマトパックのシール貼り、石鹸作り、虫よけトンボ作りなど 課題：灯籠が今後は減る見込みがあり、セーラー作業やトマトのシール貼りを増やすか、新たな作業を取り組むか、色々と模索中である。 平均工賃：13,164円 （昨年より、2,000円の工賃アップに繋がった）</p> <p>ウ ワークセンターおおきみ 就労継続支援B型：定員10名、利用者数11名。（受入不可） 作業内容：セーラー万年筆の部品組立、園芸（苗の販売、牡蠣の種付け用の貝殻通し、軽作業など） 課題：セーラー作業では、最近作業工程の変更（エコを意識した取組）があった。無印良品のポリカボールペンの受注は増えている。園芸で花摘みをそのまま捨てていたが、再利用で藍染をしようか検討中。外作業（貝作業や園芸）は冷房がなく、暑くなる日</p>

も多く、短い時間で対応している。

平均工賃：16,439円

エ りんりん（報告のみ）

就労継続支援B型：現在の職員数での定員は18名、月1回の利用の方もおられるので、数名の受け入れ可能。

作業内容：きくらげの栽培・販売、貝殻通し（穴あけ、通し）、（トマトの）シール貼り、濱口醤油（箱折り等）など。

平均工賃：11,000円

オ ひまわりくらぶ（報告のみ）

就労継続A型事業所：定員20名、利用者数19名。（受入可）

作業内容：ペットフード（冷凍）、サニタリーボックス洗浄、江田島荘のリネン。

時給：1,026円

1日勤務：4.5時間

(2) 関係機関からの情報提供及び課題

ア 呉公共職業安定所

障害者専用の求人は少なく、一般の求人の中から相談対応をしている。ご本人の思いを大切にしながら就労移行事業所や就労継続支援B型事業所、なかぼつと連携し支援を行っている。

イ 呉安芸地域障害者就業・生活支援センター（なかぼつ）

手帳を持っている方の就労支援を行っている。

企業に対しても雇用準備から対応をしている。

今回、船で通える場所で1件、企業での障害者雇用の話がある。毎日通える方で、決まった時間を働ける方がいれば、ご相談ください。

今年度は、就労準備の研修会を予定しているのでお願いします。

ウ ぐらしサポートセンターえたじま

生活、家計、仕事の悩み等、生活の不安や心配ごとの悩みに寄り添い、どうしたら良いのか一緒に考えています。

就労支援については、50代60代の方も多く、なかなか就労に繋がることは少ない。

エ 無料職業紹介所（報告のみ）

ハローワークに出されている一般求人のうち、民間の職業紹介所で取り扱うことができる求人について相談、紹介をしています。相談に来られた方の中には、障害がある方もいらっしゃいます。その時点での求人情報を伝え、状況に応じて障害者生活支援センターの担当者に繋いだり、ハローワーク呉の専門の相談窓口についての情報を伝えたりしています。

オ 商工観光課

昨年度からハローワーク呉と連携をして、月1回の出張ハローワークを実施している。

(3) 就労選択支援について

令和7年10月1日から施行となる新たな障害福祉サービス。障害者本人が就労先・働き方についてより良い選択ができるよう、就労アセ

メントを活用して、本人の希望、就労能力や適性等に合った選択を支援する。特別支援学校高等部での就労選択支援の利用が可能で複数回の実施も可能。要件が過去3年以内に、3人以上の雇用された実績などもあり、江田島市内ではあおぞらしか要件を満たす事業所がない。

あおぞら：地域の中で必要な状況ではあるが、課題として、場所の問題と職員の確保が現状では難しい。

なかぼつ：ウェルビーが全国展開で行うと情報があった。アセスメントの基準等が決まっていないので難しさがある。就労選択支援員の要件について、なかぼつの職員は満たしているが、事業の対応は不可。

2 研修会

【支援者研修】

「準備性のアセスメントについて」

～新しい職業準備性にかかるアセスメントツール～

日時：令和7年9月18日（木）10：25～12：00

講師：独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構 広島支部
広島障害者職業センター

主任障害者職業カウンセラー 清家 隆史氏

参加者：17名

内容：就労支援のための新しいアセスメントツールを学び、グループワークを行った。

アンケート結果：より理解を深めて、アセスメントシートを活用していきたいと思った。

協同でチェックしていくことで、ズレの大きさがわかったり、改めて日ごろの支援で力をつけていくポイントがわかるので活用する場面が多いと思う。本人の自己理解を深める気付きを促す聞き取りが必要だと思った。

【当事者研修】

「会社で働くために」

日時：令和7年10月21日（火）10：00～12：00

講師：独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構 広島支部
広島障害者職業センター

主任障害者職業カウンセラー 清家 隆史氏

中村 豊氏（補佐）

参加者：41名（利用者23名）

内容：「会社で働くとは」

「会社が求めること～整容面～」

「会社が求めること～働く動機～」

「会社が求めること～素直さ・真面目さ～」

「会社が求めること～安定出勤～」

「職業準備性とは」

いろいろなテーマでグループワークを行い、解説を聞きなぜ必要なのかを学んだ。また、「職業準備性のピラミッド」を活用し、現在の自分の状況を振り返り、「就労準備について」学んだ。

振り返り：利用者にとって良い経験になったと思う。

普段、発言しない方も自分の思いを伝えたり発表する機会

もありいい経験になったのでは。職員にとってもいい経験になった。

3 障害がある方の活躍を応援する！ えたじま〜けっと（振り返り）
（障害者福祉事業所製品の市町庁舎販売キャンペーン）

(1) 報告

日時：令和7年12月9日（火）9：30～13：30

場所：ゆめタウン江田島 2階（文具店隣）

参加事業、団体：SEL P江能、あおぞら、ワークセンターおおきみ、りんりん、ふれ愛プラザ、江田島市心身障がい児者父母の会たんぽぽ学級

来場者数：約130名

(2) 各事業所より *（ ）内は、売上

- ・ワークセンターおおきみ（25,210円）

利用者は喜んでいて、他の利用者にもチラシ配りに参加してもらってもよかった。花もよく売れた。利用者2名は1日参加した。

- ・あおぞら（22,910円）

利用者は喜んでいて、野菜もあり、商品を置くスペースが狭く、こちらの準備不足があった。

- ・りんりん（31,750円）

時間もちょうどよかった。思いのほか売れていた。

- ・SEL P江能（26,300円）

利用者のチラシ配りはいい経験になった。保護者の方が買いに来てくれた。来年度もぜひ参加したい。

(3) 開催時間について

【気づき】

午後からゆめタウンへ来られるお客が少なく、イベントの客足が途絶えた。時間を縮小するべきか。

【意見】

- ・昼休憩に職員が買いに来ていた。
- ・野菜を買う方は、午前中に来られる。
- ・人によっては、午後から来られる人もいる。

【来年度について】

来年度も同じ時間で開催し、様子を見ていく。

(4) 障害福祉サービス事業所作品展示について

期間：11月29日（土）～12月9日（火）

内容：事業所作品展示、パネル展示、パンフレット

参加事業所：呉特別支援学校江能分級

ふれ愛プラザ

歩歩江田島

グループホーム パラレル

グループホーム サンライズ（大君、柿浦）

グループホームオリーブ

福祉サービス事業所りんりん

自立支援センターあおぞら

SEL P江能

ワークセンターおおきみ

	<p>(5) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・江田島市心身障がい児者父母の会たんぽぽ学級は、今年度で解散のため、来年の参加はなし。 ・来年度、呉特別支援学校江能分級が参加予定。 ・呉市の福祉まつりでは、カフェが併設されている。誠心園の地域活動支援センターでカフェを検討しているのであれば、コラボしてもいいのではないか。 ・呼び込み係でチラシ配りや看板だけでなく、お客さんの目につく工夫が必要（実際の商品を手を持つなど）。 ・開催日については、来年の第1回目で決定できるように協議する。 <p>4 来年度の取組について</p> <p>(1) 内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各事業所における現状（作業内容、定員、利用者数）及び課題 関係機関からの情報提供及び課題 ・来年度の研修会について ・えたじまーけっと開催（12月予定） ・振り返り、来年度に向けて（1月予定） <p>(2) 開催回数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年4回予定 【6月、9月、12月（えたじまーけっと）、1月】
--	---

令和8年度活動計画

開催回数	4回（6月、9月、12月（えたじまーけっと）、1月） * 6月と9月は定例会終了後に開催予定
出席機関	江田島市商工会、呉公共職業安定所、呉安芸地域障害者 就業・生活支援センター、ひまわりくらぶ江田島、福祉サービス事業所りんりん、自立支援センターあおぞら、SELP江能、ワークセンターおおきみ、くらしサポートセンターえたじま、社協無料職業紹介所、呉特別支援学校江能分級、相談支援事業所ユーカリ、市商工観光課、江田島市障害者生活支援センター、障害者相談支援事業所江能、市社会福祉課
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> ・各事業所における現状（作業内容、定員、利用者数）及び課題 ・関係機関からの情報提供及び課題 ・来年度の研修会について ・えたじまーけっと開催 ・振り返り、来年度に向けて

相談支援部会 令和7年度活動報告及び令和8年度活動計画

令和7年度活動報告

開催回数 及び開催 日	2回 第1回 令和7年6月12日(木) 第2回 令和7年12月11日(木)
出席機関	江田島市障害者生活支援センター・障害者相談支援事業所江能・(誠心福祉会) 相談支援事業所ユーカリ・市社会福祉課
活動内容	<p>1 第1回【令和7年6月12日】</p> <p>(1) 事例検討 (社協、誠心園)</p> <p>ア 社協 事例提供 課題：療育手帳B 未就学児 小学校入学時の情報提供や決定に向けた支援について</p> <p>イ 誠心園 事例提供 課題：アルコール依存症 休日に飲酒量が増えること、金銭管理について</p> <p>(2) 昨年検討した事例のその後の経過について</p> <p>(3) その他 勘案事項整理表について</p> <p>2 第2回【令和7年12月11日】</p> <p>(1) 事例検討 (江能・社協)</p> <p>ア 江能 事例提供 課題：発達障害を指摘されている児童のケース 学校との関係作りや支援につなげていくにはどのような関わりが必要か。</p> <p>イ 社協 事例提供 課題：就労移行支援から就労継続支援B型への移行。事業所見学や体験をしている状況。事業所を選ぶ基準についてなど。</p> <p>(2) 前回検討した事例の状況報告</p>

令和8年度活動計画

開催回数	2回予定
構成員	江田島市障害者生活支援センター・障害者相談支援事業所江能・相談支援事業所ユーカリ・市社会福祉課
内容	事例検討